

「話し合う活動」における指導改善のポイント



いつでも！どこでも！だれでも使える！
授業づくりのステップ 1・2・3 Vol.2

「子どもが主役の授業づくりのために」

このリーフレットは、「授業づくりのステップ1・2・3 vol.2」「話し合う活動」(右図)のステップ1とステップ2の具体例を示したものです。全国調査の問題(※)の中から特徴的な問題を取り上げ、意見や考えを「ひきだす」「つなぐ」の具体的な発問や働き掛けの例を示しました。



た。 ※掲載している全国調査問題は、国立教育政策研究所のウェブページ (<https://www.nier.go.jp/23chousa/23chousa.htm>) から引用しています。

1 全国調査・県調査の結果から

全国調査・県調査の結果から、佐賀県の子どもには、以下の課題があることが分かりました。

- ・ 資料から問題解決に必要な情報を読み取ることや読み取った情報を関連付けること
- ・ 読み取った情報を基に、考えたり、その考えを表現したりすること

これらの課題の解決を目指し、子どもが各教科の「見方・考え方」を働かせて、主体的に問題解決に取り組み、自分の考えを表現し、友達と交流しながら、更に自分の考えを練り上げていく活動を行っていきましょう。

2 自身の授業を振り返ってみましょう。

- 子どもは意見や考えをもつことができていますか。
- 子どもが理由や根拠を説明する場面がありますか。
- 子ども同士のやり取りはありますか。

3 次のような授業を目指しましょう。

- 子どもが主体的に取り組む授業を目指しましょう。
 - 教師の説明する時間は、ポイントを絞って短めに。
 - 理由や根拠を見付けさせたら、説明も子どもに行わせる。
 - キーワードは、「ひきだす」「つなぐ」

このリーフレットでは、小学校(国語・算数)中学校(国語・数学・英語)の例を示していますが、全ての教科・領域の指導において、大切なことです。単元を通して身に付けさせたい力を意識して、「ひきだす」「つなぐ」授業づくりに取り組みましょう。

【令和5年度全国学力・学習状況調査 大問2】
 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして
 必要な情報を見付けることができるかどうかを見る。
 県平均正答率(64.3%) 全国平均正答率(67.4%)

4と回答しているもの(22.4%)

「筋力を高める運動」が「瞬間的に大きな力を出す」ものであることを捉えることができていない。

2と回答しているもの(7.3%)

「筋力を高める運動」が「瞬間的に大きな力を出す」ものであること、その例が「腹筋運動」と「腕立てふせ」であることも捉えることができていない。

1と回答しているもの(5.0%)

「瞬間的に大きな力を出す」ものが「筋力を高める運動」であることを捉えることができていない。

【資料2】運動について書かれたパンフレットのページ

運動で健康な体をつくらう！

運動には、筋力や持久力などを高めるほかに、病気への抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちがリフレッシュするなどの効果もあります。

どんな運動をするというの？

運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休み時間の外遊び、犬の散歩、階段の上り下り、荷物運びなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくると効果的です。

主に持久力を高める運動の例

主に筋力を高める運動の例

軽いジョギング 縄とび(続けてとぶ) 腹筋運動 腕立てふせ

【稲田さんのメモ】

◆持久力を高める運動
 ・軽いジョギング
 ・縄とび(続けてとぶ)

◆体のやわらかさを高める運動
 ・ふっつきん運動
 ・うで立てふせ

◆体のやわらかさを高める運動
 ・ふっつきん運動
 ・うで立てふせ

◆筋力を高める運動
 ・腹筋運動
 ・腕立てふせ

◆持久力を高める運動
 ・軽いジョギング
 ・縄とび(続けてとぶ)

◆体のやわらかさを高める運動
 ・ふっつきん運動
 ・うで立てふせ

◆筋力を高める運動
 ・腹筋運動
 ・腕立てふせ

相田さんの学級では、健康に過ごすために、複数の文章を選んで読み、自分ができそうなことを考えてまとめることになりました。次は、「相田さんの考え」と、相田さんが知りたいことを調べるために選んだ「資料1」「資料2」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料1】運動について書かれた本の一部

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで適度に運動をすることが大切だとされています。私たちが日々行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさんの酸素を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋力の方を高める運動などです。

生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じて運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

このような課題の改善を目指し、「子どもが主体的に取り組む授業」に取り組みましょう。次ページからは、「話し合う活動」のステップ1「ひきだす」、ステップ2「つなぐ」の具体的な教師の働き掛けの例を示しています。

(子どもの考えなどを) ひきだす

情報の整理の仕方について交流する場面

健康に過ごすために自分ができそうなことをまとめるために、複数の資料から必要な情報を見付ける。

児童が受け身の学習にならないように、読む目的を明確にしましょう。調査問題等であれば、リード文の重要性に気づくようにしましょう。



何のために資料を読みましたか。

健康に過ごすために、自分ができそうなことを考えて、まとめるためです。



2つの資料から分かったこと、気づいたことを出し合ひましょう。

一部の児童だけの発表にならないように「気づいたこと」「出し合う」と伝えることで、多くの児童が発言できるようにしましょう。



資料1も2も、運動のことが書いてあります。



資料1からは、運動の種類が分かりました。



資料2でも、運動の種類が分かりました。



児童の発言に対して揺さぶりの発問をすることで、児童の考えを引き出させるようにしましょう。



資料の1と2のどちらにも運動の種類だけが書いてあったのですか。

資料2には、運動の種類だけでなく、運動の例も書いてありました。



(子どもの考えなどを) ひきだす

情報の整理の仕方を教師から示して、単なる作業にならないように、整理の仕方を児童が考えるようにしましょう。



たくさんある分かったことや気づいたことは、どのようにして整理する
といいですか。

線を引くといいです。



四角や丸で囲んで区別するとよさそうです。



色分けして、線を引いたり囲んだりしてもいいと思います。



児童の発言を受け止め、認めるようにしましょう。



なるほど、いい方法です。色や線、囲みを入れていくと、どこが大切
か分かりやすくなりますね。

教師から解決方法を示して、児童が受け身にならないように、困り感の共有を図り、解決方法を児童が考えるようにしましょう。



でも、印や線だらけになって、どこが大事か分かりにくいかも...



困っている人がいるけど、何かいい方法はないですか。

言葉を抜き出して、メモにするのもいいと思います。



児童の発言に対して、具体的な解決方法を自分たちで考えるような発問をするようにしましょう。



言葉を抜き出すには、どうやってその言葉を見つけたらよいでしょうか。

前の学習で、繰り返し出てくる言葉は大切だと習ったから、繰り返し出てくる言葉を見つくと、分かりやすいです。



(子どもの考えなどを) つなぐ

教師の解説にならないように、友達の考えを予想させたり理由を問うたりすることで、根拠を示しながら考えをつなげ深めるようにしましょう。



〇〇さんは、運動の種類と関係があるところを線で結んでいました。
どことどこを結んでいたと思いますか。

この「筋力を高める運動」と「瞬間的に大きな力を出す」を結んだんじゃ
ないかと思います。



児童の発言に対して、他の児童にその考えの理由を尋ねることで全体の共有を図るようにしましょう。



〇〇さんは、どうして「筋力を高める運動」と「瞬間的に大きな力を出す」
を結んだと思いますか。

資料1に「瞬間的に大きな力を出すことで筋肉の力を高める運動」と書
いてあるからだと思います。



他にも、資料2に、「筋力を高める運動の例」と書いてあるので、「腹筋
運動」とも結べると思います。



まとめたものを発表して終わりにならないように、共通点を基に複数の情報を整理することのよさ(考えがより明確になり、思考がまとまること)を実感できるようにしましょう。



【まとめたものを発表した後】
整理の仕方は違うけど、同じところや似ているところはありますか。

メモに抜き出している言葉と囲んでいる言葉が、同じだと思います。



みんな大事な言葉を見つけて、
囲んだりつないだりして分かり
やすくなっています。



大事な言葉を見つけてまとめると、最初より、もっと分かりやすくなりました。



小学校算数科

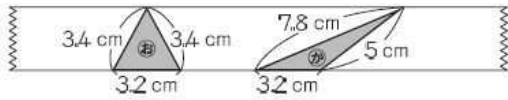
【令和5年度全国学力・学習状況調査 大問2(4)】

高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。

県平均正答率(15.6%) 全国平均正答率(20.8%)

1

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。

下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

正答

【番号】 3

【わけ】(例)三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。おとかの底辺はどちらも3.2cmなので等しいです。おとかの高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、おとかの面積は等しいです。

選択肢	佐賀県の選択の状況
1	5.5%
2	25.2%
3(正答)	29.0%
4	30.7%
無解答等	9.4%

【課題点】

左表から、選択肢を選んだ時点で、誤答である選択肢4を選択している方が多いことが分かる。
※わけを書けていない解答も含む。

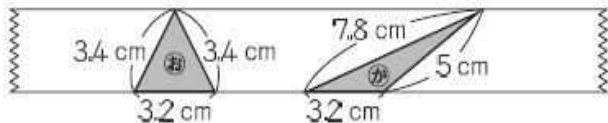
このような課題の改善を目指し、「子どもが主体的に取り組む授業」に取り組ましよう。

次ページからは、「話し合う活動」のステップ1「ひきだす」、ステップ2「つなぐ」の具体的な教師の働き掛けの例を示しています。

2

(子どもの考えなどを) ひきだす・ゆさぶる・つなぐ

(問) テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



問題に出会った段階で自分なりの考えや問いをもたせたい。



上の2つの三角形の面積を比べます。
どんなことがわかりますか。次の1から4の中から1つ選びましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

自分なりに考え選択する



与えられた図や表に主体的に働きかけるような発問を心掛けたい。このことにより、子どもたちの考えのズレが明確になることを期待したい。



いろいろ考えがありそうですね。何か知りたいことはありますか。

高さは何cmですか。

テープはどんなテープですか。きれいなテープですか。





きれいなテープってどういうことだと思いますか。

きっと、平行かどうか知りたいんじゃないのかな。

平行だったら、高さが等しいと言えるかもしれない。

でも、高さが何cmかは分からないよ。

分からなくてもいいんじゃないかな。面積は求められなくても、比べることはできるよ。

なるほど。じゃあ今日はこのことを考えていきましょう。めあて「(※めあては、子どもの言葉を生かして、共につくっていく)」

選んだ選択肢とそのわけをノートに書きましょう。始めに選んだものから、変えてもよいですよ。

自力解決



1番を選んだ人は手を挙げます。2番・3番・4番...。なるほど。先生は4番だと思うな。

子どもの考え・表現を問い返す。抽象的で不明瞭な考え・表現を教師が解釈して返すのではなく、子ども同士のやり取りを通して子ども自身が的確な数学的表現を用いることができるようにコーディネートしていく。

ペアやグループ活動を設定して、子どもがアウトプットする場を設定してもよい。

問題解決に向かって、見通していく中で、子どもから出た「問い」を焦点化し、子どもと共有しながらめあてを立てていく。

あえて教師が誤答を強調し、子どもから考えを聞き出すようにする。



そうです。面積を求められないから比べられないです。

そうそう。どっちも底辺は3.2cmと分かるけど、高さが分かりません。

そうだね。やっぱり4番だね。



え！？でも、底辺も高さも等しいから面積は分からないけれど、それぞれの面積は等しくなります。

ええ！？どういうことですか。(全体へ問い返す)

テープの幅はどこも同じ長さなので等しいです。だから、2つの三角形の高さは等しくなります。



ええ！？どういうことですか。(全体へ繰り返し問い返す)

つまり、テープの上の直線と下の直線は平行ということです。だから、高さが等しくなります。



分かった！どちらの三角形も底辺は3.2cmで等しく、高さも何cmか分からないけど等しい。だから、面積も等しいと言えるんだね。

なるほど。では、それぞれ、もう一度自分の考えを言ってみよう。

再度、教師が誤答を強調し、子どもから考えを聞き出すようにする。

全体へ繰り返し問い返すことで、多くの子どもに自分なりに考えを表現させ、その表現や考えのよさに触れさせたい。子どもの考えを教師が解釈し、子どもに代わって説明することは避け、子ども同士のやり取りを通して問題解決に迫ることができるようにコーディネートする。

発問する際は、子どもの考えや表現をひきだし、ゆさぶり、つないで本時のねらいにせまるように心掛けたい。

【令和5年度全国学力・学習状況調査 大問4三】
 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。
 (県平均正答率43.8% 全国平均正答率50.0%)

【問題】【学校図書館で見つけた「竹取物語」の一部】は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見つけた「竹取物語」の一部】の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。

【誤答例】

例①「竹取の翁」を「竹取りじいさん」と表現している。
 例②「よろづのこと」を「笠、竿、箒、籠、筆、筒、箸。」と書いている。(8.5%)

例③学校図書館で見つけた「竹取物語」の方が、物語らしく面白くなっている。
 例④普通の現代語訳よりも分かりやすく書かれているところが工夫だと思う。(18.8%)

【考えられる生徒のつまずき】

【学校図書館で見つけた「竹取物語」の一部】のどこが工夫されているのかを考え、【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見つけた「竹取物語」の一部】から表現を取り上げて書くことはできているが、その表現が文章の内容を伝えたり印象付けたりする上でどのように働いているかを考えることができていない。

【学校図書館で見つけた「竹取物語」の一部】について、自分が感じたよさや工夫されていると考えたことを書くことはできているが、その根拠を明確にすることができていない。

つまり、①対応する表現を抜き出して比較する。②その効果を考えて言語化する。
 という、問題文に示された条件が読み取れていないことが、つまずきにつながっている。

このような課題の改善を目指し、「子どもが主体的に取り組む授業」に取り組みましょう。
 次ページからは、「話し合う活動」のステップ1「ひきだす」、ステップ2「つなぐ」の具体的な教師の働き掛けの例を示しています。

(子どもの考えなどを) ひきだす



教科書の「竹取物語」の訳と星新一の現代語訳を読み比べて気付いたことはありますか。

星新一の訳は長いです。 星新一の訳の方が面白いと思います。 星新一の訳はいろいろ書いてあります。

個人の意見を掘り下げるため、全体に広げながら、めあてにつなげる



Aさん



Bさん



Cさん



星新一の訳の方が長いのはなぜですか。

付け加えが多いからです。

「いろいろ」は具体的にいうとどんなところですか。

竹で作った品物のところですか。

たとえば、どんな付け加えがありましたか。気付いた人はいますか。

前述の生徒の発言をいかす

「手なれた仕事だ。」という一文は、原文にはありません。



そうですね。この一文が入ると、教科書の現代語訳と比べてどんな違いがありますか。付け加えがBさんが気付いた面白さにつながっているかもしれません。

では、今から星新一の現代語訳の工夫について考えてみましょう。どこがどのように工夫されているか、表現を取り上げて自分の考えをクラスメイトに説明できるようにしましょう。

(子どもの考えなどを) ひきだす

自分の考えとはどういうことですか。

「自分の考え」とは具体的にどういふことを書いたらよいか説明できる人はいますか。

さっき出た「面白い」などではないですか。

教師の発問の補足を生徒に行わせる

「面白い」と感じた理由が説明できたら考えになるのでないですか。

モデルを示し、取り組みやすくする

それは「○○の部分が、△△だから面白いと考えます。」などですか。

一つ具体的なアイデアが出ました。書くのに困ったら、今のアイデアを真似してみてもいいかもしれません。それでは、今からやることを整理してみましょう。

星新一の現代語訳から、工夫されている部分を探します。

星新一が工夫した点を自分なりに考えて書きます。

問題文の中から、満たすべき条件を見付け、対応できないことが本県の課題です。普段の学習から、何が求められているのかを理解させることが大切です。

やることは2つ、整理できましたか。めあても改めて確認します。どのくらい時間は必要ですか。○○分ですか。それでは(○時○○分)まで個人で取り組みましょう。

(子どもの考えなどを) つなぐ

ではそれぞれの意見を発表してください。

私は「竹取の翁」を「竹取りじいさん」としたところが、読み手に親しみを感じさせると考えました。

生徒の発言を取り上げ、広げる

僕も同じです。

理由も同じですか。自分の言葉で発表してみましょう。

僕は「竹取の翁」より堅苦しく感じないと思いました。

同じところを選んだ人はいませんか。どんな考えを書きましたか。

私は「じいさん」の方が、現代の人にはわかりやすいと思います。

なるほど。同じところでもそれぞれ考えたことや表現の仕方が違います。だから、たくさんの人の意見を聞くことが大切です。

生徒の発言を価値づける

他にはありませんか。

教科書は「まことにかわいらしい様子で座っている」ですが、星新一の訳は「まことにかわいらしい」となっています。

おいしいです。その工夫の説明ができれば「自分の考え」になります。

星新一の訳の方が、おじいさんが思わずつぶやいたようで、かわいらしさがより伝わると思います。

【令和5年度全国学力・学習状況調査 大問9(1)】
ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる。 県平均正答率(24.1%) 全国平均正答率(32.1%)

9 次の図1のように、 $CA = CB$ の二等辺三角形 ABC と、 $\triangle ABC = \triangle DEF$ となるような $\triangle DEF$ の2つの三角形を厚紙で作ります。

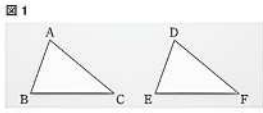
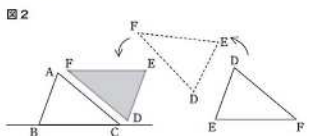


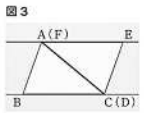
図1の2つの三角形の厚紙を使って、次の方法1と方法2でそれぞれ2つの直線をひきます。

方法1

◇ $\triangle ABC$ を置いて、直線 BC をひく。そして、図2のように、 $\triangle DEF$ を回して、点 F を点 A に、点 D を点 C に重ねる。



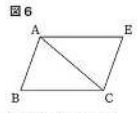
◇ 図3のように、点 A と点 F が重なった点 A として、直線 AE をひく。また、点 C と点 D が重なった点 C とする。



優奈さんは、方法1の直線 BC と直線 AE 、方法2の直線 BC と直線 AF がそれぞれ平行になるのではないかと考え、調べることにしました。

(1) 優奈さんは、前ページの方法1の直線 BC と直線 AE が平行になるかどうかを調べるために、右の図6をかきました。図6の $\triangle ABC$ と $\triangle CEA$ は、それぞれ $CA = CB$ 、 $AC = AE$ で、 $\triangle ABC = \triangle CEA$ です。

図6において、 $BC \parallel AE$ であることは、すでにわかっている $\triangle ABC = \triangle CEA$ をもとにして、同位角または錯角が等しいことを示すことで証明できます。 $BC \parallel AE$ であることを証明しなさい。



正答 $\triangle ABC \cong \triangle CEA$ より、
合同な図形の対応する角は等しいから、
 $\angle BCA = \angle EAC$
よって、錯角が等しいから、
 $BC \parallel AE$


県平均正答率	全国平均正答率
24.1	32.1

誤答と考えられる生徒のつまずき

- $BC \parallel AE$ を書いているが、表現が十分でなかったり、根拠が抜けていたり、根拠の表現が十分でなかったりするもの (21.6%)
- $BC \parallel AE$ を示すためには、すでに明らかにしている $\triangle ABC \cong \triangle CEA$ を利用すればよいことを捉えることができていない。 (8.5%)
- 証明に誤りがあるもの (8.5%)
- 証明の流れや、根拠の説明を、正しく書くことができていない。
- 無解答 (28.8%)
- 証明の方針(見通し)を考えることができていない。

このような課題の改善を目指し、「子どもが主体的に取り組む授業」に取り組ましましょう。
次ページからは、「話し合う活動」のステップ1「ひきだす」、ステップ2「つなぐ」の具体的な教師の働き掛けの例を示しています。


(子どもの考えなどを) ひきだす(確認する)



この問題では何を証明すればいいですか。

問題文に「 $BC \parallel AE$ であることを証明しなさい」と書いています。


図の $BC \parallel AE$ を証明すればいいと思います。



そうですね。では $BC \parallel AE$ を証明するためには、何がいえればいいですか。問題文をみてみましょう。

同位角または錯角が等しいことを示すことで証明できたと思います。

$\triangle ABC \cong \triangle CEA$ はすでにわかっています。



どうして同位角または錯角が等しいことを示すことで証明できるのですか。







以前、2つの直線で、同位角や錯角が等しいとき、平行になることを学びました。

同位角や錯角が等しくなかったら平行にならなかったと思います。

学習のゴール(結論)を明確にする発問

ゴールから逆に考える思考を明確にする発問(思考過程の指導)

解決するために必要な既習内容を確認する発問

(子どもの考えなどを) ひきだす(ゆさぶる)



証明するには、今みんなから出た考えをどのように組み立てたらいいですか。

証明の流れをつかむ発問

仮定としてすでにいえることを使って、BC//AEを説明すればよいと思います。

BC//AEが結論になればいいと思います。

同位角や錯角が等しい場所を見付ける必要があります。



～実際に、自分の力で証明を書く～

(子どもの考えなどを) つなぐ(ゆさぶる)



みなさんの証明をみてみましょう。どんな気付きがありますか。

自分たちの考えを比較、統合しながら気付いていく場面

①の証明
∠BCA=∠EAC
BC//AE

②の証明
△ABC≡△CEAより
∠BCA=∠EAC
四角形ABCEは平行四辺形だから
BC//AE

③の証明
△ABC≡△CEAより
∠BCA=∠EAC
よって、錯角が等しいから
BC//AE

①の証明は、何か足りないと思います。



子どもたちの気づきや考えを自由に発言させる場面

同位角や錯角が等しいことを使っていないと思います。



△ABC≡△CEAは、必要だと思います。



2つの等しい角が錯角で、だから平行といえるように書くと思います。



そうですね。①の証明は、成り立つための根拠を書く必要があるようですね。②の証明についてはどうですか。

証明の流れや根拠の説明が正しいかを評価する発問

「∠BCA=∠EAC」と「四角形ABCEは平行四辺形」が繋がっていないと思います。



同位角や錯角が等しいことを使っていないと思います。



なるほど。③の証明はどうですか。

証明の筋道としてうまく書かれているが根拠の不足がある解答例を取り上げ、解答の改善を促すようにする

錯角については示せていると思います。ただ、まだ何か足りないような...




そうですか。みなさんが納得いく証明の完成まで、意見や考えを出し合ひましょう。

中学校英語科

【令和5年度全国学力・学習状況調査 大問8(2)】
県平均正答率(14.0%) 全国平均正答率(19.5%)

ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えと理由を英語で書くことができるかどうかをみる。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?

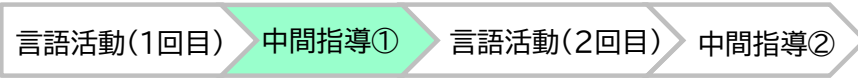


【正答の条件】
① 書き手の意見に対する自分の考えを書いている。
② ①の理由を書いている。

【誤答例と生徒のつまずき】
[主な誤答例]
・正答の条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの
Yes, I do. I think robots are very nice. (理由に具体性が欠けている)
No, I don't. I don't like robots. (自分の好みを理由としている)
[主な生徒のつまずき]
・どのようなことを書けば理由になるのか理解できていない。
・理由を書くために必要な表現が身に付いていない。

このような課題の解決を目指し、「子どもが主体的に取り組む授業」に取り組みましょう。
次ページからは、「話し合う活動」のステップ1「ひきだす」、ステップ2「つなぐ」の具体的な教師の働き掛けの例を示しています。

(子どもの考えを) ひきだす



本時の言語活動: ロボットについての意見交流

【“I think robots are very nice.”[主な誤答例より]という生徒の意見を受けて】

Thank you. (学級全体に) Who thinks robots are very nice? Raise your hands.
[数名の生徒が手を挙げる]
Tell us why?
[なかなか意見がでない]
What does the writer say in the article? You can use the sentences from the article.
I think robots are nice. They are helpful at some restaurants. They can carry many plates, so restaurants don't need a lot of staff members.
I see. Good. Thanks to robots, we don't need to work. Is that OK?
I think it's OK.
「仕事なくなる」ってどう表現するのかな?
Well, some of you think we will lose our jobs because of robots.

それでいいのかな?
People can't work. No job!
(1人1台端末で調べて) It's not OK because we will lose our jobs.

・学級全体に“Who thinks robots are very nice?”と問い掛け、その理由を尋ねることで、“nice”と考える具体的な理由をひきだします。

・理由や根拠は記事の中にもあることに気付かせるとともに、書き手の意見を踏まえて考えを述べるができるよう、記事を引用するよう促します。

・“Is that OK?”とゆさぶることで、反対意見をひきだします。

・教師と生徒のやり取りだけでなく、生徒同士で意見をやり取りすることで、考えを広げたり、深めたりします。

(子どもの考えを) ひきだす

〔“I agree because robots do our housework.”という生徒の意見を受けて〕

Student A agrees with the writer because robots do our housework.
(学級全体に) Who agrees with student A? Tell us the reason.

I agree. If robots do our housework, we will have more time.

I see. What can you do if you have more free time?

We can enjoy our hobby.

Right. We can enjoy our hobbies like playing sports, reading books and so on.
By the way, where can we see robots? Only at home? At the restaurants?

We can see robots at ... (文で応答するよう促す)

Factory.

えっと、文で... We can see robots at the factory.

Yes, we can see them at the factories. Any other places?

... 工事現場

(学級全体に) How do you say “工事現場” in English?

「工事現場」って単語、習っていない...

(1人1台端末で調べて) Construction site.

That's right! Construction site.

初めて聞きました。

難しい単語だな。

(学級全体に) Do you need to practice this word?

Yes!

・生徒Aの意見を取り上げ、それに対する賛成理由を学級全体に問い掛けることで、“robots do our housework”につながる具体的な理由をひきだします。

・話題に挙がっている“home”と“restaurants”以外でロボットが活躍している場所を想起させることで、別の視点からロボットのよさをひきだします。

・生徒のつぶやきから「工事現場」という単語を取り上げ、学級全体で共有します。習っていない単語や表現は必要に応じて発音等を全体で練習します。

(子どもの考えを) つなぐ

We can see robots at the construction sites too.
What are they doing there?

They are working to make roads, buildings and so on.

Right. Well, now many robots are working at those places instead of humans.
Why are they working? What are the good points of them?

えっと、よい点は...

They don't get tired.

Interesting! Robots never get tired, so what can they do?

ずっと、続けて働くことができるから...

They can work for long.

I see. They can work much longer than us because they never get tired.
Any other ideas?

They can work at dangerous places.

(学級全体に) For example?

Moon!

Top of the high building.

They can work in deep water.

・相づちを打ったり、関連した質問をしたりして、生徒同士の発言をつなぎ、ロボットの具体的な利点をひきだします。

・生徒の発言を起点としてロボットが活躍する危険な場所を問うことで、多様な例をひきだします。

※この資料においては、生徒の発話の誤りを訂正せずに示しています。